



Re:planter 村瀬 貴昭 展

Re:planter Takaaki Murase exhibition

会期：2019 年 4 月 25 日(木)－ 5 月 30 日(木) 9:00 - 17:00

会場：板室温泉大黒屋サロン ※展示は宿泊以外の方もご覧いただけます。

作家在廊日：4 月 25 日 5 月 30 日

会期中の休館日 5 月 8,9,22,23 日

板室温泉大黒屋では、2019 年 4 月 25 日(木)より 5 月 30 日(木)まで、
Re:planter 村瀬貴昭 展を開催いたします。京都在住の植栽家：村瀬貴昭は幼少期に祖父の盆栽、思春期にアクアテラリウム、青年期に希少植物コレクターを経て、Re:planter としてソロプロジェクトを始動。リサイクル × プランツを信条に植物の再生から自然の循環をテーマに活動しています。初期の作品は、使われなくなった TV、PC 基盤、電球などの廃材と植物を組み合わせた作品を制作後、その後新たな展開として、「自然の理(ことわり)」を探求し循環する生きた作品作り」として生まれた代表作が『スペースコロニー』です。それは自然光が無い場所でも LED ライトで植物を育てる事ができるガラスの球体の中に、土、樹木、苔、多肉植物やサボテンなどで植栽された作品は「現代版の盆栽」と言えます。

大黒屋では、初めての試みとなる今回の展示は、その代表シリーズ『スペースコロニー』をサロン空間から客室内も含め館内広々と展示を行います。村瀬は自身の作品を芸術作品というより、日常生活の中に植物を持ち込むことを目的としています。この機会に植物を通して自然、生命の循環を感じていただきたく多くの方にご高覧いただけたら幸いです。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

ご質問等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

村瀬 貴昭 Takaaki Murase

1980 大阪府生まれ。

2012 Re:planter 開始。

2013 後期より、自然の作り出す理合に着目。理:planterとして、それらの自然環境を照明器具内に創作。暗店舗や多忙な現代人に向け手間がかからず環境に左右されにくいマクロな中庭照明、新たな盆栽としてのプロダクト SpaceColony シリーズを展開。

2014 植栽家として様々な場所での公開制作、または他ジャンルのアーティストとのセッションも含めた Live-planting を重心として活動。

主な展覧会歴

2018 SHOP & GALLERY YDS、京都
y gion、京都

2017 ワトプラス wad+、大阪
帝塚山学園アートフェスタ、奈良

2016 Gallery Nao Masaki、愛知

その他個展、グループ展、Live-planting 活動多数

